平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	グローバル人材育成推進事業	担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始	担当課室	高等教育企画課	高等教育企画課長 義本 博司			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「基本方針」(平成23年9月2日閣議決定)、「政策推進の全体像」(平成23年8月15日閣議決定)、「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「政策推進の全体像」を踏まえた「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」の具体化のための取組を行う体制の整備等により、高等学校段階における外国語能力・海外経験の適切な評価を伴う大学入試の導入や実践的語学力測定試験の開発・実施、学生の留学を促進するための環境整備等の学生のグローバル化を推進するための全学的な取組を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」の具体化として、 ○ 高等学校段階における外国語能力・海外経験の適切な評価を伴う大学入試の導入 ○ 実践的語学力測定試験の開発・実施 ○ 学生の留学を促進するための環境整備 ○ 語学教育力の向上 ○ グローバルな通用性を涵養し意識を向上させる取組の積極展開 等の取組を実施する大学を公募により国公立大学を通じて競争的に選定し、重点的な財政支援を行う。【補助率：定額補助】						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算				12,140	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					12,140	
	執行額						
執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)	
	日本人学生の海外留学者数	成果実績	人	-	-	-	80,000
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	採択大学が目標設定した日本人学生の海外派遣者数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	※24年度の活動見込である (-) (-)
	採択大学が目標設定した外国語カスタンダードを上回る学生数	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	※24年度の活動見込である (-) (-)
単位当たりコスト	202百万円(百万円/件)	算出根拠	単位当たりコスト =24年度要求額(12,120千円)/採択予定件数(60件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	国際化拠点整備事業費補助金	-	12,120百万円	※平成24年度新規事業			
	審査・評価等経費	-	20百万円				
	計	-	12,140百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・日本人のグローバル化を目的に高等学校段階における外国語能力・海外経験の適切な評価を伴う大学入試の導入や実践的語学力測定試験の開発・実施、学生の留学を促進するための環境整備等を行うという観点から事業案を作成しており、既存事業との重複がないことを確認している。 ・本事業では、各採択大学が設定した日本人学生の派遣と卒業又は修了時における一定の外国語カスタンダードをクリアした学生の増加を活動指標として立ており、日本人学生のグローバル化という点で効果的な事業である。 ・海外への日本人学生の留学30万人(「新成長戦略」)や大学生の1年間以上の留学経験者の8万人規模(「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」)の達成という目標があり、本事業により日本人学生のグローバル化や留学を促進するための環境整備を進めることで当該目標の達成に寄与するものとなっている。 ・本事業は、グローバル人材育成のための大学の国際化を進展し、大学改革に資するものであり、必要不可欠な事業である。 	
予算監視・効率化チームの所見			
	-	本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		-	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、概算要求の積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
12,140百万円

（本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、採択大学に対して補助金を交付する。）

【公募・補助】

A.大学(全60件)
12,120百万円

（外国語能力の適切な評価を行う大学入試の導入、実践的語学力測定試験の開発・実施、学生の留学を促進するための環境整備等を行う。）

【補助】

B.独立行政法人等
20百万円

（本事業の選定委員会を設置し、本事業の選定に係る審査等の業務を実施。）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.大学等			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	グローバル人材育成推進事業費(60件)	12,120			
計		12,120	計		0
B.独立行政法人等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	審査・評価等経費	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0